

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リトルジェム植木		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 9日		2026年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 9日		2026年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アセスメント・計画・支援の一貫性	<ul style="list-style-type: none"> ・TASP等を活用した適応行動の把握と多面的アセスメント ・保護者・園・他事業所との情報共有を踏まえた計画作成 ・職員全体での計画検討(会議参加型) ・HUGを活用した計画共有・即時確認体制 	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント結果の「見える化(数値化・グラフ化)」 ・支援効果の定期的評価(KPI設定) ・支援方法の標準化(事例共有・マニュアル化)
2	保護者満足度・信頼関係の高さ	<ul style="list-style-type: none"> ・HUGや送迎時での丁寧な情報共有 ・面談・相談対応の柔軟性(随時対応) ・支援内容の丁寧な説明と同意形成 ・共感的な関わり 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者ニーズの定期分析(アンケート+面談) ・ケース別フィードバック(個別レポート等) ・保護者向け支援(ペアトレ等)の体系化
3	環境設定・支援環境の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋の使い分けによる適切な空間確保 ・パーティション等による環境調整 ・個別対応スペースの確保(アレルギー対応含む) ・清掃の徹底による快適な環境維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境設定の「視覚支援強化」(構造化の高度化) ・感覚特性に応じた空間設計(静・動エリア分化) ・清掃・環境整備の役割分担の効率化

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員配置・職員体制の不安定さ	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の休みによる人手不足が発生 ・業務負担の偏り 	<ul style="list-style-type: none"> ・シフトの見直し・余剰人員の確保 ・業務の標準化・分担の明確化 ・非常時対応(代替要員)の仕組みづくり
2	研修・組織的学習の不足	<ul style="list-style-type: none"> ・全体研修の機会が不足 ・個別受講→共有のみで体系化されていない ・学びが属人化している 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間研修計画の策定(必須研修の設定) ・法人内研修の定期開催(月1など) ・研修内容のマニュアル化・共有資料化
3	家族支援・交流機会の不足	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会・交流の参加率が低い ・実施方法がニーズに合っていない ・家族支援が単発的 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催方法の見直し(オンライン・短時間・平日夕方など) ・テーマ型保護者会(就学・困りごと別) ・個別支援+グループ支援の併用